

博士課程教育リーディングプログラム
平成23年度採択プログラム事後評価
学生アンケート調査(案)

- この調査は、博士課程教育リーディングプログラムの平成23年度採択プログラムの事後評価の一環として、各大学の御協力により、文部科学省の指導の下で独立行政法人日本学術振興会が××株式会社に委託して実施するものです。
- プログラムに参加する皆さんに御意見をうかがい、各プログラムの評価・改善に役立てると同時に、文部科学省による新たな施策の検討の参考とします。
- 回答内容は全て統計的に処理されるとともに、回答者個人についての情報が他の目的で使われることはありません。また、調査結果については、プログラムの改善に資するため、回答者個人が特定されないよう固有名詞の削除や複数の類似意見の統合等の処理を行った上で、当該大学に対して情報提供するほか、集計結果を公表することがあります。

- X月X日(X)までに次のウェブサイトから御回答ください。→ <https://XX>
- 本調査に関するお問い合わせ先
XX 株式会社 担当者:XX Email:

参加するプログラムと、御自身についてうかがいます

問1 参加している大学・プログラム名について、以下に表示されている内容を確認してください。

IDにより大学名・プログラム名を表示

問2 年齢、性別について選択してください。

年齢	1. 24歳以下	2. 25～29歳	3. 30歳代	4. 40歳代以上
性別	1. 女性	2. 男性		

問3 プログラムとの関係について選択してください。

プログラム参加開始年度	1. 2011(平成23)年度	2. 2012(平成24)年度	3. 2013(平成25)年度	4. 2014(平成26)年度	5. 2015(平成27)年度
	6. 2016(平成28)年度				

現在の学年	1. 大学院1年次(M1)	2. 大学院2年次(M2)	3. 大学院3年次(D1)	4. 大学院4年次(D2)	5. 大学院5年次(D3)
	6. 大学院6年次以上	7. 医歯薬学又は獣医学系1年次	8. 医歯薬学又は獣医学系2年次	9. 医歯薬学又は獣医学系3年次	10. 医歯薬学又は獣医学系4年次以上

プログラム参加時期	1. 大学院入学と同時に参加	2. 大学院入学後1年以内に参	3. 大学院入学後2年目以降に
-----------	-------------------	--------------------	--------------------

		加	参加		
学位論文執筆予定分野	1. 総合系 (情報学、環境学、複合領域)	2. 人文社会系 (総合人文社会、人文学、社会科学)	3. 理工系 (総合理工、生物系科学、化学、工学)	4. 生物系 (総合生物、生物学、農学・獣医学、医歯薬系)	5. ほか

↓

具体的に記入してください。

問4 経歴についてあてはまるもの全てを選択してください。

1	プログラムを実施する大学を卒業	5	社会人を経験後、プログラムに参加
2	留学生	6	現在も在職中
3	他の大学の学部を卒業(国立高専専攻科修了後学士を取得した場合を含む)後、プログラムに参加	7	在職中だが、休職中
4	他の大学院を経験後、プログラムに参加		

問5 指導教員(専門分野における研究指導を主に行う教員1名)とプログラムとの関係について選択してください。

1	指導教員がいる — その指導教員がプログラムにも参画している
2	指導教員がいる — その指導教員はプログラムには参画していない
3	それ以外

↓

具体的に記入してください。

問6-1 このプログラムに参加しようと思った動機として、~~あてはまるもの全てにチェックしてください~~は何ですか。また、~~その中で最も直接的な動機に近いもの1つに○をしてください~~。そのうちの最も強い動機は何ですか。

	当てはまるもの全てにチェック 動機 (複数回答可)	最も近いもの1つに ○うち、最も強い動機
プログラムの目的と自分の目指す将来像が合っている		
産業界、官界、NPO、国際機関への就職など自分の将来の可能性が広がる		
通常の博士課程では得られない幅広い知識や経験が得られる		

他の研究科(専攻)の学生や教員、留学生等との交流の幅が広がる		
留学や海外インターンシップなど海外での経験が積める		
グローバルな舞台で活躍していくために Ph.D.が必要		
経済的な支援が充実している		
何となく面白そうだった		
友人・知人や研究室の先輩等の教員以外の人にプログラムを勧められた		
指導教員等に勧められた(自分の意志で参加)		
指導教員等に勧められた(断ることができなかった)		
何となく面白そうだった		

上記を選択した理由やその他の理由がある場合について、自由に記述してください。

問6-2 このプログラムがなかった場合、最終学位としてどれを選択していましたか。

1	学士(今所属する大学)
2	学士(他大学)
3	修士(今所属する大学と同じ研究科・専攻等)
4	修士(今所属する大学の別の研究科・専攻等)

5	修士(他大学)
6	博士(今所属する大学と同じ研究科・専攻等)
7	博士(今所属する大学の別の研究科・専攻等)
8	博士(他大学)

問7 プログラムの以下の点をどのように評価していますか。

	非常に良い	良い	どちらとも言えない	良いとは言えない	機会がなかった
他の専門分野の学生との交流					
他大学の学生との交流					
専門分野以外の教員との出会い					
企業人との交流					
専門分野以外の幅広い知識や経験					
奨励金や授業料の補助等大学からの経済的支援					
議論することに対する自信をつけること					

アカデミア以外の分野で活躍する自信をつけること					
語学力向上のためのカリキュラム					
インターンシップの機会					

プログラムでの実施状況等についてうかがいます

問8 このプログラムで以下のような指導をどの程度受けましたか。また、受けた場合はそれは有効ですか。

	受けた頻度				有効か			
	よく受けた	ある程度受けた	受けていない	今後受ける予定	有効	ある程度有効	あまり有効ではない	有効ではない
指導教員以外の教員からの指導				有・無				
企業、政府機関等の学外者からの指導・助言				有・無				
主専攻以外の分野の授業等の履修				有・無				
研究室ローテーション ※ 名称は問わない(他研究室に一定期間滞在するなど、異分野の専門的な知識を身に付ける機会を指す。)				有・無				
プロジェクト形式による授業や課題				有・無				
授業外のサポート(メンター等)				有・無				
産業界、官界、NPO、国際機関等、教育研究機関以外へのキャリアパス具体化のための情報提供 例:産学共同研究、産業界等の講師を招いたセミナー 等				有・無				

上記を選択した理由や特に有効と思ったことがあれば自由に記述してください。

問9A. このプログラムにおいて、以下のことは整備されていますか。また、それは有効ですか。（※整備されていない場合は「該当なし」を選択し、設問「有効か」への回答は不要です。）

	整備されている				有効か （「該当なし」を選択した場合は回答不要）			
	十分に されてい る	ある程度 されている	不十分	該当なし	有効	ある程度 有効	あまり有効 ではない	有効では ない
奨励金や授業料の補助等大学からの金銭的支援								
異分野の学生間で切磋琢磨できる環境 例：学生が交流するスペース、合同のセミナー等								
外国人、職業人等、通常の大学院では接触しにくい人との交流の機会								
学生のみでプロジェクト等を企画・運営する機会								

上記を選択した理由や特に有効と思ったことがあれば自由に記述してください。

問9B. このプログラムによって、以下のことを経験しましたか、また、経験した場合それは有効でしたか。（※プログラムのカリキュラムに以下の制度・取組がない場合は「修了まで参加予定なし」を選択してください。）

	参加の有無			有効か （「参加した」を選択した場合のみ回答してください）			
	参加した	これから 参加	修了まで 参加予定 なし	有効	ある程度 有効	あまり有効 ではない	有効ではない
①国内の民間企業又は官庁、国際機関等への研修・インターンシップ(1月未満)							
②国内の民間企業又は官庁、国際機関等への研修・インターンシップ(1月以上)							
③国内の民間企業又は官庁、国際機関等への研修・インターンシップ以外の国内での学外活動 ※1							
※1 「参加した」、「これから参加」と回答した場合、具体的な活動内容や期間を記入してください。							
(自動集計)①～③の実人数合計							

④海外の民間企業又は官庁、国際機関等への研							
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--

修・インターンシップ(1月未満)							
⑤海外の民間企業又は官庁、国際機関等への研修・インターンシップ(1月以上)							
⑥プログラムの中での留学(3月未満)							
⑦プログラムの中での留学(3月以上1年未満)							
⑧プログラムの中での留学(1年以上)							
⑨海外の民間企業又は官庁、国際機関等への研修・インターンシップ及び留学以外の国外での学外活動 ※2							
※2 「参加した」、「これから参加」と回答した場合、具体的な活動内容や期間を記入してください。							
(自動集計)④～⑨の実人数合計							

上記を選択した理由や特に有効と思ったことがあれば自由に記述してください。

問10 このプログラムに**参加することによって**、以下の能力は**身に着いたと思えますか**どう変化しましたか。

	参加前			参加後		
	あった	ある程度あった	なかった	向上した	ある程度向上した	変化なし
高度な専門的知識・研究能力						
高い国際性						
専門以外の分野の幅広い知識						
物事を俯瞰し本質を見抜く力						
自ら課題を発見し解決に挑む力						
独創的な能力						
チームのマネジメント力						
企画立案、関係者との調整、統率する能力						
他者と協働する力						
ディスカッション能力						

プレゼンテーション能力						
語学力						
その他(具体的に:)						

問11 以下のような点についてどう考えますか。

	非常に そう思う	そう思う	そう 思わない	全くそう 思わない
プログラムに参加する教員間でプログラムについての理解が共有されている				
一部の教員に負担が集中している				
指導教員や研究室スタッフを含め、プログラムに参加していない教員等はプログラムの目的を理解し、プログラムに参加することに協力的である				
学術研究だけではなく、企業や政府、国際機関等で活躍する人材を育成する可能性が大きい				
所属研究室での指導とこのプログラムでの指導が二重負担になっている				
このプログラムによって自身の研究に新たな示唆・知見が得られた(得られそうである)				
このプログラムによって自身の進路選択に関して新たな示唆・知見が得られた(得られそうである)				
所属研究室において自分の専門的な研究を進めて、業績を上げられるか不安がある				
修了後の進路に不安がある				
後輩にもこのプログラムを勧めたい ※				
※ 「そう思わない」あるいは「全くそう思わない」と回答した場合、その理由を記入してください。				

~~問12 以下の点についてどう考えていますか。~~

	非常に そう思う	そう思う	そう 思わない	全くそう 思わない
このプログラムによって自身の研究に新たな示唆・知見が得られた(得られそうである)				
所属研究室での指導と、このプログラムでの指導が二重負担になっている				
所属研究室において、自分の専門的な研究を進めて、業績を上げられるか不安がある				
修了後の進路に不安がある				

御自身の今後の希望やプログラムによる成果等についてうかがいます

問1312 修了後の進路就職等についてどのような希望を持っていますか。

	大学院入学時の希望 (複数回答可。社会人学生は、入学時の職業を選択)	平成29年4月1日現在の希望 (複数回答可。社会人学生は、平成29年4月1日現在の職業を選択)	既に進路が決定している (希望ではなく、決定している場合1つだけ選択) (社会人学生は、修了時の状況あるいは転職先として該当するものを選択)
民間企業に就職(研究者以外として)			
民間企業に就職(研究者として)			
官公庁に就職			
国際機関に就職			
NPO・NGO等(公共的サービスの提供主体)に就職			
医師、弁護士等の専門職			
起業			
大学(海外を含む)に研究者として就職			
その他公的研究機関(海外を含む)に研究者として就職			
ポスドク(博士研究員)			
決めていない			
その他(具体的に:)			

既に就職が決定している場合(社会人学生については転職することが決定している場合)、就職先、就職時期、就業形態、求職の方法(指導教員等による紹介、博士課程教育リーディングフォーラム等イベントでの人事担当者とのマッチング等)、出来る限り具体的に記入してください。

問13 修了後の居住国について希望は持っていますか。

	今後の希望 (複数回答可)
日本	
日本あるいは母国以外の外国	
母国に帰国	
未定	

問14 プログラムへの参加によって、人生観、職業観、世界観、国際意識等がどのように変わったかを自由に記述してください。

個人が特定されない処理をした上で、プログラムへ御意見を情報提供しても良いですか。(はい ・ いいえ)

問15 産学官民(※)にわたりグローバルに活躍するリーダーとなるため、プログラムにおいて主体的に行った活動及びその成果について自由に記述してください。(※「民」とは、NGO、NPO など公共的サービスの提供主体を指す。)

個人が特定されない処理をした上で、プログラムへ御意見を情報提供しても良いですか。(はい ・ いいえ)

全般的な御意見をうかがいます

問16 参加するプログラムについて、自身の将来にどう役立つと思うか、また、どのように改善すればよいと考えるか、感想、意見を自由に記述してください。（下記①～③のうち1つでも構いません。）

① <プログラムが役立っている点・良い点>

個人が特定されない処理をした上で、プログラムへ御意見を情報提供しても良いですか。（ はい ・ いいえ ）

② <改善を要する点(負担を感じる点など)>

個人が特定されない処理をした上で、プログラムへ御意見を情報提供しても良いですか。（ はい ・ いいえ ）

③ <その他>

個人が特定されない処理をした上で、プログラムへ御意見を情報提供しても良いですか。（ はい ・ いいえ ）

(参考情報)よろしければ御協力ください

問17 あなたはこのプログラムをどのようにして知りましたか。(当てはまるもの全てを選択してください。)

1	参加プログラムのウェブサイト
2	文部科学省のウェブサイト
3	日本学術振興会のウェブサイト
4	参加プログラムのリーフレット等
5	大学で行われた説明会・シンポジウム等
6	大学以外の場所で行われた説明会・シンポジウム等
7	新聞、雑誌等の広告

8	プログラム担当者の教員
9	プログラム担当者以外の教員
10	学内の友人・知人
11	学外の友人・知人
12	Facebook 等の SNS
13	その他(具体的に:)

アンケートは以上で終了です。御協力ありがとうございました。